



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998

☎(076)22

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「世を照らす光となろう」 “Be the light of the world”
スローガン	「恵みを愛もて分かち合おう」 “Share your blessings in love”
アジア地域会長主題	「歳月は Y's をワイズ (賢者) にする」 “Years bring wisdom”
スローガン	「行動が活力を呼び覚ます」 “Action vitalize life with strength”
西日本区理事主題	「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
スローガン	「ワイズメンの満足度向上を 真摯に取り組もう」
中部部長主題	「前へ! 声を掛け合い!」 “Go forward! Call together!”
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたライフを!」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club!”
会長: 澤瀬 諭, 副会長: 川村孝治, 書記: 北 肇夫, 会計: 三谷信三, 直前会長: 北 肇夫	

今月の聖句: それは、からし種たねのようなものである。土に蒔くまときには、地上のどんな種たねよりも小さいが、蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰かげに空の鳥が巣を作るほど大きな枝を張る。
マルコによる福音書4章31-32節

2013年6月強調月間 評価・計画

ワイズメンの満足度が向上したかどうか。クラブ数が増加したかどうか。会員数がいくら増加したか。数値で見える尺度で評価して、次年度の計画につなげよう。吉村 秀喜 広報事業主任 (長浜クラブ)

<p>☆☆6月第一例会(創立20周年記念)案内☆☆</p> <p>日時: 6月13日(木) 19:00~21:00</p> <p>場所: 金沢白鳥路ホテル(金沢市丸の内6-3)</p> <p>会費: 3,000円</p> <p>準備: 川村君</p> <p>***プログラム***</p> <p>司会: 三谷君</p> <p>開会・点鐘: 澤瀬会長</p> <p>ワイズソング: 一同</p> <p>今月の聖句: 司会者</p> <p>今月のハッピー・パーティ: 澤瀬会長 竹中メット(1日)</p> <p>ゲスト紹介: 司会者</p> <p>チャーター会員表彰: 澤瀬会長</p> <p>食前の感謝: 平口君</p> <p>—— 会 食 ——</p> <p>卓話 「わかりやすいキリスト教」: 桶谷忠司氏 (日本キリスト教団 福野伝道所牧師)</p> <p>事業委員報告: 各委員</p> <p>ニコニコタイム: 三谷君</p> <p>閉会・点鐘: 澤瀬会長</p>	<p>☆☆5月例会報告☆☆</p> <p>[第一例会] 5月9日(木)19:00~21:00、KKR ホテル金沢、卓話「食べられるほど安心」な化粧品」千田和弘氏、参加者: 斉藤清美さん・森永壽久氏・森永美穂さん(ゲスト)、川村君・北君・澤瀬君・澤瀬メット・竹中君・平口君・三谷君、計11名。</p> <p>[第二例会] 5月23日(木)19:00~21:00、金沢YMCA集会室、参加者: 川村君・北君・竹中君・平口君。</p> <p>金沢YMCA理事会・総会 5月30日(木)18:30~20:30、北陸学院大学ライザー記念館、北君・澤瀬君・平口君・三谷君参加。第16回東日本区大会 6月8日(土)~9日(日)、花巻温泉・ホテル千秋園、平口君参加。</p> <p>6月の当番 司会: 三谷君、準備: 川村君</p> <p>今月の聖句について イエスが「神の国」を「からし種」にたとえて述べた箇所。『讚美歌I』234番「むかし主イエスのまきたまいし」(詞: 由木康)の第1歌詞は、この聖句による。その第2~第4歌詞は、詩篇67章2-6節に依拠し、「世界の民をひとつとなし、地の果てまでも、み国とする約束を、いま果たしたまえ」で結ばれている。(平口)</p> <p>*例会に使用済み切手をご持参ください。</p>
--	---

当クラブ	5月出席者	5月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 6名	メ ン 6名	100%	前月繰越切手 2,271g	4月累計 164,537円
広義会員 0名	メネット 1名		5月分切手 25g	5月分 18,200円
	ビジター 0名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ゲスト 4名		切手 2,296g	
			現金 0円	
合計 6名	11名	100%		累計 182,737円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 5月第一例会に参加して ◆

平口 哲夫



5月9日(日)19:00~21:00、KKR ホテル金沢で開催された5月第一例会の卓話は、千田和弘氏(株式会社ルパンシュ代表取締役)による「食べられるほど安心」な化粧品。千田氏は1965年金沢市生まれ。1990年にユニークなコンセプトの化粧品会社ルパンシュを設立。高校卒業後、父親の経営する食品研究会社で大手食品会社の商品開発などをしていたときに化粧品開発の機会を得たものの、化粧品の成分分析をしているうちに安全性に大きな疑問を抱き、これが創業のきっかけとなったそうです。

化粧品は口に入れるものではないけれど、口に入る可能性の高いものですから、「口に入れても大丈夫な化粧品」でなければなりません。そこでルパンシュでは、化粧品を100%食用成分で作っています。防腐剤も天然のものにこだわり、国産のローズマリーエキス、ワサビやダイコン由来の成分を組み合わせ使用。食品同様、化粧品でも鮮度を大切にし、新鮮な商品をお客に届けるために、効率優先の大量生産ではなく、少ないロットで心をこめて製造。動物実験は行わず、環境にやさしい製品づくりによって、皆様に信頼していただける会社を目指しているとのこと。

原価に大きな格差のある液体化粧品サンプルAとBを例会参加者に配布し、肌につけてみて、どちらか高価な化粧品かを問うという実験(ゲーム?)では、驚いたことにどちらも同数という結果になりました。この実験はどこで試みても似たような結果が得られるとのこと。これは化粧品というものの性格をよく示しています。原料は安くても容器や宣伝に大きな費用をかければ高級化粧品に生まれ変わるわけですから、化粧品を手がける会社は多いわけです。けれども、日焼け止め化粧品の開発をしていない会社は大したことないそうです。日焼け止め化粧品は、SPF(紫外線防御指数、UVB波の防止効果を表す指数)やPA(UV-A防御指数)について、一定の認可を得るためには高額な経費を必要とするからです。

千田氏は、私の姉の長女のご主人、つまり私にとっては義理の甥に当たりますので、気軽に卓話をお願いしました。女性ファンが多そうなので、ファンが多数参加して下さると思ったのですが、その点は期待外れ。ファンの皆さんは千田さんの講演をすでにどこかで聴いているからでしょう。



◆ “初夏のクリーンキャンペーン”に参加して ◆

地域奉仕・環境事業委員長 北 肇夫

“金沢百万石まつり”が間近となった5月26日(日)早朝、金沢市青少年団体連絡協議会(青团連)主唱の清掃活動に、金沢YMCAと金沢クラブ、金沢犀川クラブが呼応して参加した。

好天に恵まれ、Stage I(金沢YMCA集会室周辺)では、金沢クラブ3名、金沢犀川クラブ4名が呼び掛けに応えた。続いてStage II(新桜坂緑地、通称W坂)では、地元町内会「石交会(セッコウカイ)」と金沢犀川クラブ(川村・北・澤瀬・竹中の4ワイズ)との合同により、女性3名を含む12名が参加した。



(Stage IIの清掃用具)

Stage Iで回収されたゴミ(タバコの吸殻やペットボトルなど)は、年々少なくなっているようである。また、Stage IIで集積されたゴミの量は、枝葉などが上段園地と下段園地を合わせてゴミ袋(90L入り)26袋に及んだ。なお、ゴミの回収は、金沢市役所の「緑と花の課」に連絡したところ、速やかに回収された。

Stage IIの作業には、川村ワイズ所有のプロアー(エンジン付きの掃除機)2台が大活躍し、小1時間の清掃作業でW坂は見違えるようにきれいになり、達成感を胸いっぱい味わうことができた。汗を流した後、「石交会」の皆さんと記念撮影をしたほか、「お茶」などで喉を潤しながら歓談した。

当クラブの清掃活動は地道なものです。地域奉仕や環境への取り組みとして、今後とも会員の皆様のご協力をお願いします。



(Stage IIでの記念写真)

第16回西日本区大会

2013年6月22日(土)~23日(日)、名古屋能楽堂とウエスティンゴヤキャッスルで開催。川村・北・澤瀬・平口・三谷、以上5名が参加予定。

《 金沢YMCAのホームページ 》

<http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>